



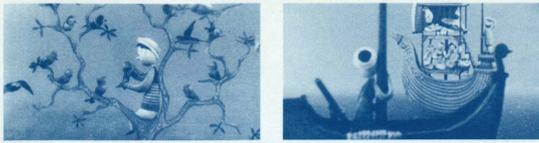
SPONZORŮ POC. & CABLE HOQUE & JAPAN SKYWAY O.S.A.
DISTRIBUČE JAPAN SKYWAY O.S.A. & CABLE HOQUE

KAREL ZEMAN

RETROSPEKTIVA

13 FILMOVÝCH DĚL ZE SVĚTA FANTAZIE KAREL ZEMAN





鳥の島の財宝 (Poklad ptačího ostrova) 1952年/68分/カラー
美しい小さな島では、みんなが平和に暮らしていた。ある日、島に突然黄金がもたらされ、島民は争ったり憎み合うようになる。

* 1952年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭・アニメ部門入賞 * 1957年ワルシャワ少年少女国際映画祭・名誉賞



前世紀探検 (Cesta do pravěku) 1955年/93分/カラー
ボートに乗った4人の少年が、時間の川を上りながら古代を冒険。プロントザウルス、ティラノザウルス、そして恐竜バトル。空には、翼竜や始祖鳥が飛び回る中、少年達はサイバイバル術を駆使して『生きた』三葉虫を発見。

* 1955年ヴェネチア国際映画祭・青年少女部門グランプリ受賞 * 1955年エジプト国際映画祭・名誉賞 * 1956年マンハイム文化ドキュメンタリー映画祭・マスコミ評論家学術映画賞 * 1956年ベルゼンキエ国際映画祭・青年少女のための理想的な映画賞 * 1957年モスクワ学生映画祭特別賞



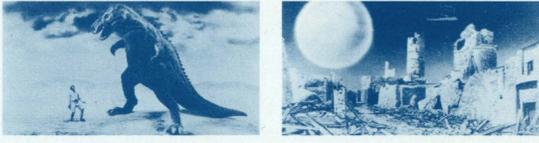
狂気のクロニクル (Bláznova Kronika) 1964年/82分/白黒
30年戦争(1618~48、ドイツを舞台にヨーロッパ諸国を巻き込んだ宗教戦争)を描いた作品。恋人と共に囚われの身となった農夫ピーターの運命を追いながら、戦争の愚かさや皮肉なアニメと実写の合成作品。風刺家でもあるゼマンは、当時のチェコスロヴァキアでの抑圧体制の中で、常に批判精神を忘れなかった。

* 1964年サンフランシスコ国際映画祭・最優秀監督賞 * 1965年カンヌ青年映画の集い・青年少女映画審査委員会名誉賞 * 1965年アジアパシフィック国際映画祭・グランプリ受賞



盗まれた飛行船 (Ukradená vzducholoď) 1966年/90分/カラー
19世紀末、飛行船が発明され、人々は大騒ぎ! 遂に人間が空を飛べる時代になったとたんに、少年たちが飛行船を盗んで冒険大旅行! ジュール・ヴェルヌの代表作『神秘島』の特撮映画化。気球に飛行船、潜水艦ノーチラス号とネモ船長の秘密が解き明かされる奇想天外さ。実写に書き割り風アニメーションが合わさる。モノクロ映像を時にセピア調、時に赤みがからせグラデーションにし、感情の変化で色を変化させたり、ノスタルジックな雰囲気を出す。「石器時代から、子供は大人に叱られ続けてきた」紙芝居のような重なる心あふれる作品として人気のある中期傑作。

* 1967年テヘラン少年少女国際映画祭・特別賞 * 1968年アジアパシフィック国際映画祭・第2位 * 1968年リニョ少年少女映画祭ネブチューン賞 * 1969年ソレントチェコスロヴァキア映画祭・銀のセイレン賞



彗星に乗って (Na kometě) 1970年/74分/カラー
1888年、アフリカのフランス領アルジェリア。フランス軍の若き中尉は、町で見かけた絵巻の黒髪の美女に一目惚れ。誤って海に落ちた彼を助けてくれたのは、なんと絵巻の美女だった。その時、謎の彗星が地球に急接近、大地震とともに、町がまるごと彗星に吸い上げられてしまう。遠ざかっていく地球の影。そこは、前世紀の恐竜や翼手鳥が住む世界だった。『盗まれた飛行船』に続くヴェルヌ原作SFの映画化。アラビアンナイトと宇宙SFが組み合わさったかのような視覚効果、ゼマンの色彩術が冴えるファンタスティック・アドベンチャー。

* 1970年ヴェネチア少年少女国際映画祭・CIDALC賞 * 1972年テヘラン少年少女国際映画祭・グランプリ受賞 * 1973年ハリ・ファンタスティック映画祭・特賞受賞



シンドバッドの冒険 (Pohádky tisíce a jedné noci) 1974年/94分/カラー
船乗りシンドバッドは、大海原を旅し、異国を訪ねる途中数々の驚きに出会う。ある時は巨大な魚、またある時はグリフス(ワシの頭と翼、ライオンの胴体というギリシャ神話の怪物)、何百年も生きている老ガメ、勇気あるオウム、そして空飛ぶじゅうたん。シンドバッドは、一風変わった味方や協力者に助けられ勇敢に旅をする。「アラビアン・ナイト」の主人公のひとりシンドバッドの冒険旅行を切り紙アニメ化で描く、ゼマンのユーモアと奇想が楽しい7つの短編からなる作品。種彩色豊かな映像は、なかなかエキゾチック。

* 1967年ヴェンナ・L・名誉賞



クラバート (Čarodějův učeň) 1977年/73分/カラー
少年クラバートは、夢に誘われるまま荒地の水車場の見習いになり、親方から魔法を習う。過酷な労働、週に一度クラスに变身し親方に魔法のレッスンを受ける日々、ところが3年後、自由と、ひとりの少女の愛のため、生死をかけて親方と対決する日がある。ドイツ地方に伝わる伝説をもとに、魔法使いの親方に戦いを挑む少年の物語。チェコ生まれのドイツ人作家ブライスラーがクラバート伝説を下敷きにした児童文学の傑作を、抑えた色彩とダークなキャラクターで映像化。ゼマンの代表作のひとつであるばかりでなく、世界のアニメーション映画に残る作品として『ホンジークとマジェンカ』と並ぶ晩年の傑作。

* 1977年テヘラン少年少女国際映画祭・アニメ部門グランプリ受賞 * 1978年ゴッドヴァルド少年少女国際映画祭・アニメ部門特別賞 * 1978年エスケー・ブジョヴィツェチェコスロヴァキア映画祭・特別賞 * 1979年ローザンヌ少年少女国際映画祭・名誉賞 * 1984年シカゴ少年少女国際映画祭・アニメ部門グランプリ受賞



ホンジークとマジェンカ (Pohádka o Honzíkovi a Mařence) 1980年/66分/カラー
世界を旅するホンジークを導くのは、3人の妖精。たちはだかる障害を魔法で切り抜いたり、助言を与えたりする。ある日、ホンジークは妖精マジェンカに出会い、恋に落ちる。しかし、2人の愛を試す苦難が次々と襲いかかる…。多くの年代記は伝説や戦争の話ばかりで、<愛>や<幸せ>については書かれていないと語る本作は、<真実の愛>と<戦争のない生活>を望む祈りにも似た作品。口ずさみたくなる牧歌的音楽とロマンス。切り紙アニメで描く、ゼマン最後の長編。

* 1981年Giffoni Valle Piana少年少女国際映画祭・アニメ部門グランプリ受賞 * 1981年エスピノ国際映画祭・長編アニメ部門グランプリ受賞 * 1981年少年少女映画祭・審査委員会特別賞 * 1982年Tomar少年少女国際映画祭・グランプリ受賞

◆「カレル・ゼマン レトロスペクティヴ」DVD発売記念上映◆
3月13日(土) ~ 4月9日(金) レイトショー!
3/13(土)-14(日)-15(月)-16(火)-17(水) 18(木)-19(金)-20(土)-21(日)-22(月) 23(火)-24(水) 25(木)-26(金)-27(土)
ホジークとマジェンカ 水玉の幻想 クラバートのクリスマス夢 プロコウク氏映画製作の巻 前世紀探検 盗まれた飛行船
28(日)-29(月) 30(火)-31(水) 4/1(木)-2(金) 3(土)-4(日)-5(月)
鳥の島の財宝 王様の耳はロバの耳 狂気のクロニクル シンドバッドの冒険 彗星に乗って カレル・ゼマンと子供たち
6(火)-7(水) 8(木)-9(金)
ホジークとマジェンカ 水玉の幻想 クラバートのクリスマス夢 プロコウク氏映画製作の巻
連日PM9:20~
料金●¥1500均一
(リピーター割引●¥1200/シニア●¥1000)
オールナイト上映開催決定! * 前日とも23:30開演(当日12:00から整理券つきチケット販売) * 料金2,500円均一
●3月27日(土) カレルゼマンナイト(上記マークの9作品を上映します)
●4月3日(土) Luca(ルカ)プレゼンツ チェコアニメナイト * 詳細は劇場までお問合せ下さい
銀座テアトルシネマ
有楽町線銀座一丁目駅・銀座線有楽町1分 TEL.03-3535-6000 http://www.webs.tv/ginza
Collage & Design : Sumio Takemoto (Graphic Manipulator)

後援: チェコ共和国大使館 協力: 岩波書店 提供: バリエンゲ/ケーブルホグ/日本スカイウェイn.s.w. 配給: 日本スカイウェイn.s.w.(http://www.chelucy.com/nsw/) / ケイブルホグ (http://www.cablehogue.co.jp)

幻想の魔術師 カレル・ゼマン レトロスペクティヴ



人形アニメ大国チェコにおいて、トルンカやティールロヴァーと並ぶ先駆的存在、そして前人未踏の幻想世界の創造者カレル・ゼマン。書き割りスタイルのセット、レトロなデザインの切り紙アニメに人形アニメ、実写とアニメの合成と多彩なテクニックを駆使して生み出す、幻想空間。ガラスの妖精、愛すべき風来坊、潜水艦、恐竜時代に魔法の世界と、ゼマンが生み出した数々の愛すべきキャラクター、心に留める美しいシーン、詩情とロマン溢れる、不思議で奇想天外な物語に誰もがワクワク! ドキドキ! 代表作『水玉の幻想』、『前世紀探検』、『盗まれた飛行船』を始め、幻の処女作『クリスマスの夢』から晩年の傑作『クラバート』、『ホンジークとマジェンカ』までの13作品を一挙公開! トリック映画の創始者ジョルジュ・メリエスに魅せられ、SFの始祖ジュール・ベルヌを愛した少年の心を持つカレル・ゼマンの玉手箱のようなファンタジー・ワールドをお楽しみ下さい。

カレル・ゼマンを知っていますか? おかた えみこ

ガラスの人形を軽やかに踊らせたアニメーション作家を知っていますか? 短パン少年たちの恐竜時代へのタイムトラベルを描いた特撮監督を知っていますか? ジュール・ヴェルヌのSF世界を大胆でユーモラスな映画にした魔術師、CGが開発されるはるか以前に独特のデザインと遊び心で、かつての空想科学小説が夢見た飛行船を、潜水艦を、特撮とアニメで大画面に活躍させた、いまだ追跡者のない映像錬金術師、カレル・ゼマンを知っていますか?
カレル・ゼマンはチェコの生んだアニメーションの巨人のひとり、そして特撮の巨匠。その映画活動は第二次大戦直後から、ズリーンという地方都市で始まる。日本に最初に紹介されたのはガラスの踊り子とピエロの悲しい恋を描いた詩的短編『水玉の幻想』と、ヴェルヌが予見した最終破壊兵器の秘密基地での特撮アドベンチャー『悪魔の発明』だった。アニメーションは本来動いていない絵や人形が命を得たように動いて見える一種のトリック映画だから、アニメから特撮へはほんの一步。ゼマンはアニメの方法と体験を特撮に生

かし、応用し、ハリウッドのSFとはひと味もふた味も違う、独特の味わいの映像を作り上げた。極めて繊細な美意識と、観客がズッこける悠々たるおぼけ精神。せっかちな人には向いていないかも。席についたらまず肩の力を抜いて、のーんびりと、そう! スローライフでいきましょう。
『ジュラシック・パーク』の平和な恐竜公園より37年早い『前世紀探検』で、恐竜と戦わない共存世界を描いた人。『天空の城ラピュタ』に20年先行する『盗まれた飛行船』で空想飛行メカの群れを大空に飛ばせた人。古い人形のいじらしい努力を描いた処女作『クリスマスの夢』、カラい風刺が隠し味の『王様の耳はロバの耳』、チェコのアニメのチャップリンが活躍する『プロコウク氏』、そして晩年の愛の賛歌の長編アニメ『クラバート』に『ホンジークとマジェンカ』と、アニメ史に残した足跡もまた非凡な人。こんな人、ほかにはいなかった! まだゼマンに出会っていなかったあなた、昔からファンだったよというあなた、テレビの時代よりはるかに早く、大画面のために作られたゼマンの驚きの世界を、大画面で楽しみに来ませんか!

カレル・ゼマン ファンタジーフィルム 13 作品

KAREL ZEMAN RETROSPEKTIVA
13 FILMOVÝCH OČÍ ZE SVĚTA KREATIVNÍ KAREL ZEMAN

短編



クリスマスの夢 (Vánoční sen) 1945年/7分/白黒
少女は古い人形が大好きだったが、クリスマスの朝、真新しいおもちゃのプレゼントに夢中になる。夜、投げ捨てられた古い人形は命を吹き込まれ、部屋の中をダンスしたりおどけたり女の子の心を取り戻そうとする。そのかいて、再び女の子のお気に入り。古い布製の人形によるゼマンのアニメ処女作。愛らしい人形と、少女を詩的なテーマに共演させ、カンヌ映画祭で絶賛されアニメ部門グランプリを受賞。今回、その幻の処女作が日本初公開。
* 1946年カンヌ国際映画祭・アニメ部門グランプリ受賞



プロコウク氏 映画製作の巻 (Pan Prokoc filmuje) 1947年/8分/白黒
ちょっとおちょこちょいだけど、憎めないプロコウク氏が映画製作に突進! 自分を助けない人々を巧みに批判するプロコウク氏は、<広告掲示板>、<迷信>、<官僚制>、<役に立たない発明>などを笑いのものにしていく。痛烈な皮肉で社会を風刺するサイレント喜劇ふうスラップスティック短編人形映画シリーズの、初期の1本。
* 1948年チェコスロヴァキア映画評論家賞



水玉の幻想 (Inspirace) 1948年/12分/カラー
一滴の水玉の幻想世界にガラスの少女が華麗に舞い、たんぽぽの綿毛のピエロが彼女に恋をする。水玉に始まり、水玉に終わる小さな恋のものがたり~透明感とみずみずしさに溢れる、映像叙事詩。ホヘミアのガラス工芸を生かしたガラス細工の美しさ、詩情溢れる短編。幻想的ボエジーの世界を描いて、チェコ・アニメ史に輝く傑作。
* 1949年Knokke-Le Zoute国際映画祭(ベルギー)・アニメ部門グランプリ受賞 * 1952年ティール国際映画祭・名誉賞 * 1954年モンテビデオドキュメンタリー-実験映画国際映画祭・第2位 * 1958年ヨークトンドキュメンタリー映画国際映画祭(カナダ)・最優秀作品金標賞



王様の耳はロバの耳 (Král Lávrá) 1950年/28分/カラー
王様がロバの耳を持っていることは、誰も知ってはならない秘密。ある日、王様の散髪のために、町の散髪師が選ばれて…。しかし、ロバの耳を持っているからといって王様の権威は損なわれない、と一件落着。有名な童話をベースに、散髪屋の娘をはじめ、ゼマンがとぼけたキャラクターを駆使してユーモラスかつ風刺たっぷり描いた作品。社会主義の国にも処世術はある、という隠し味がおもしろい。
* 1950年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭(チェコ)・アニメ部門グランプリ受賞



カレル・ゼマンと子供たち (Karel Zeman dětem) 1981年/17分/カラー
ゼマンの70歳の誕生日を記念するドキュメンタリー短編映画。彼は30年以上にわたって、子供たちを魅了するファンタジー映画を製作し続けた。偉大なフィルムメイカーの創造性に溢れた夢の世界をのぞけるこの作品は、ゼマン作品を愛するすべてのファンにも興味深い。彼の発言、トリック・フィルムの製作秘話、仕掛け、特殊効果技法などが説明され、主要作品のさわり部分も見られる。ゼマンとその作品の制作の場を見学できる貴重な作品。